

使用上の注意

湿気の多い場所では使わない

水気、湿気の多い場所での使用は、故障や破損の原因になります。風呂場、雨の日の野外では使用しないで下さい。

弦に顔を近付けない

演奏中や弦の交換、調整をするときに、弦に顔を近付けないでください。弦が切れて顔にケガをする場合があります。特に切れた弦が目に入ると目を傷付け、場合によっては失明の恐れがあります。

フレットのエッジでのケガに注意

ネックの乾燥により、フレットが指板からはみ出してくる場合があります。このような状態で使用するとフレットのエッジで手などにケガをすることがありますので注意してください。フレットがはみ出してきた場合には、すぐ使用をやめ、お店を通して修理を依頼してください。

弦で指を傷付けないよう注意する

弦の先、切断面は非常に鋭くなっていますので、手を触れて手を傷付けないよう注意してください。チューニングやヘッドをクロスで拭く時には、弦の先端に手が触れないよう注意しながら行ってください。弦を交換した時には、弦の余った部分が手に触れないよう短く切り揃えてください。

弦を張り過ぎない

チューニングなどのために弦を張る時に、必要以上に強く弦を張りますと、切れてケガをする恐れがあります。特に切れた弦が目に入ると目を傷付け、場合によっては失明の恐れがありますので、弦を交換するときには顔を弦に近付けないようにしてください。

家具などに立てかけない

使用しないときには、湿気の多い場所や火の近くを避け、ケースにしまい低い場所に置かスタンドに立てて倒れにくい状態で保管してください。高い場所から落下したり、倒れるとケガや家具などを傷付ける原因になります。また、直接家具などに長時間立てかけると、表面の塗装を溶かしたり色移りする場合がありますので注意してください。

楽器を持ち運ぶときの注意

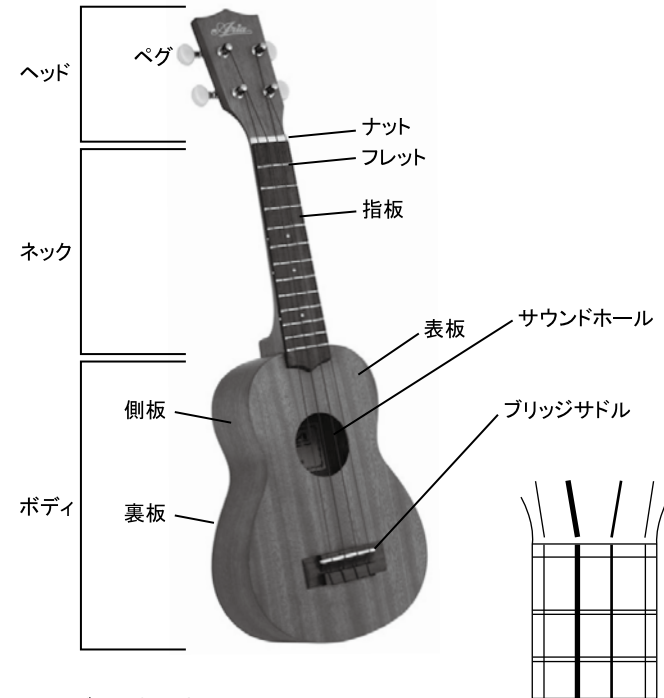
バッグやケースで持ち運ぶときには、ファスナーや止め金をしっかりと締め、バッグのショルダーストラップのフックがしっかりかかっていることを確認してください。落下してケガをしたり物をこわす恐れがあります。また、バッグのファスナーやケースのフタで指をはさんでケガをすることがありますので十分に注意してください。

Aria

アリア・ウクレレ

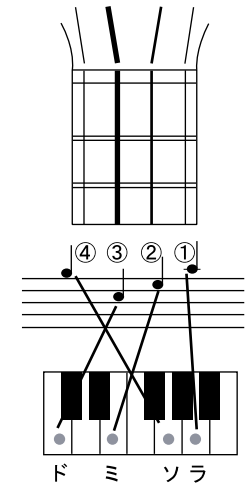
取扱説明書

この度は当社ウクレレをお買い求めいただき、誠に有難うございます。未長くお使いいただくためにも、本冊子を充分にお読みいただくようお願い申し上げます。



チューニングの合わせ方

ウクレレには4本の弦が張られていて、向かって右から1,2,3,4弦と呼びます。それぞれの弦は図のような音程で調弦します。通常のギターとの1~4弦の5フレットがウクレレの開放弦に相当します。ただしウクレレの場合、4弦に細い弦が張ってありますので、ギターの4弦の5フレットよりも1オクターブ高い音になります。



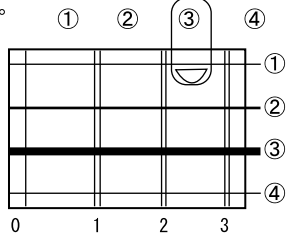
ウクレレの構え方と弾き方

ギターのように足の上に置かず、ボディの裏は体に付けて、ネックを持っている左手でウクレレを支えます。右手は手首がボディの上部に接するようにして安定させます。



左手（コードの押さえ方）

ここでは、簡単なコード弾きを紹介します。Cコード（和音）を指で押さえてみましょう。指の番号は、1:人差し指、2:中指、3:薬指、4:小指、と一般に表記します。押さえる位置はフレットの真上ではなく、上から見てやや左にします。Cコードで使う指は、3の薬指だけです。



右手（弦の弾き方）

主に人差し指で弦を鳴らします。ネックの付け根からややブリッジ寄りの位置で4弦から1弦へと弾き下ろします。（ダウン・ストローク）



1弦から4弦へと弾き上げる「アップストローク」と組み合わせて、リズムを作ってゆきます。

●コードの押さえ方と鳴らし方が分かれば、色々なコードとリズムを組み合わせて、さまざまな曲を演奏することができます。巻末に基本的なコードを紹介していますので、参考にしてください。

弦の交換

ウクレレの弦はナイロンでできているので、簡単に劣化することはありませんが、弦に傷が付いたりした場合には、早めに交換することをお勧めします。

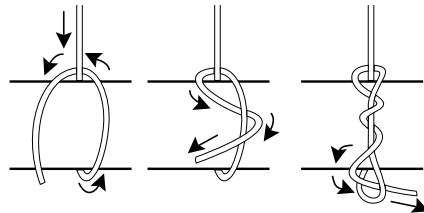
●弦の外し方

弦をゆるめてベグとブリッジから取り外してください。

*弦の取り外しの際にブリッジサドルの外れる場合がありますが、故障ではありません。元々あった溝に戻せば問題ありません。

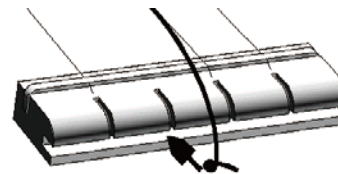
●ブリッジ側（巻きつけタイプ）

図のようにして弦を固定します。弦が滑って外れる場合が有りますので注意してください。



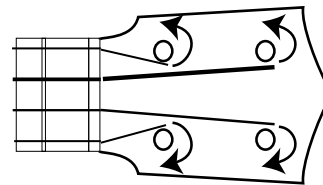
●ブリッジ側（引っ掛けタイプ）

弦の端に結び目をつくり、溝に引っ掛けます。外れないように、なるべく結び目をブリッジの溝に深く押し込みます。



●糸巻き側

糸巻きに弦を通す穴があります。そこに弦をさしこみ、巻き取ります。巻き始めには、弦がすべり抜けないように、上下を絡めながら巻きとってゆきます。左右それぞれ向かって内側より外側に巻き取ってください。



●コードについて（ギターとの比較）

既にギターをお弾きになる方は、ギター用のコードの5,6弦を省くことで対応できます。アンサンブルや譜面を読む場合には移調を考慮する必要がありますので、以下の表を参考にしてください。

[ギターでのコード]

C D E F G A B
↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
F G A Bb C D E

[実際の音（=ウクレレのコード）]

保証について

保証期間は商品によって1年または半年となっています。保証期間であっても、故障の内容によっては修理代金をいただく場合がありますので、詳しくは保証書をご覧ください。

主要コード・ダイアグラム

